

2022年11月30日

## 2021年度「市民防災・減災活動公募助成」事業実施報告書

団体名 館山復興ボランティアタスクフォース  
代表者・役職名 氏名 代表 高田昭彦

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. 助成プロジェクト名

台風15号復興倒木撤去活動、チェーンソーOJT

### 2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2019年の台風15号災害での倒木撤去活動、災害廃棄物処理作業などを機に設立しました。

### 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

社会福祉協議会運営の災害ボランティアセンターでは、広く初心者を受け入れるために、「無理をしない/させない」配慮がなされている。2019年台風19号災害では、屋根上のブルーシート張りボランティアが公認化された。技術ボランティアに対する風当たりは依然として強く、チェーンソー作業への「危険である」との画一的な視線は殆ど変わって居ないものが有る。

### 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

まだまだ倒木が残る館山市、南房総市などで、倒木撤去活動、倒伏懸念木の伐採活動を行う。また、OJTとしてレベルアップをも図る。富津市鋸山や、館山市神余などでの整備活動にも参画/交流し、活動者のすそ野を広げる活動とする。安房地域(千葉県南部)の地元参画者を募集する。  
技術ボランティアの活動し易い環境づくりのため、「課題の見える化」のために勉強会を開催する。

### 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

富津市鋸山や、館山市神余、南房総自然の家などで、チェーンソー活動者が根付いてきた。また、館山市洲崎地区、相浜地区、神余地区、南房総市千倉地区などでの住民との交流活動、高齢者見守り活動ともなっており、交流人口、関係人口として受け入れられている。  
技術ボランティア、野良ボランティア(勝手ボランティア)に関するオンラインMTGを行った。

### 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

災害を経験してなお、「終わったことと思いたい」という、被災地の心境とも出会う。美化、浄化である。  
連携して居る千葉ボラサポートも、災害は終わったこととの行政視線に対して、静かな抵抗かつ、雌伏した活動を行って居る。災害ボランティア経験者の各地元でのカミングアウト、行政等への認知度向上、名簿化、スキル登録や内閣府等への提言なども行いたい。

### 7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

